

タイ旅行フェア Thai International Travel Fair 2015 (TITF2015 #17)

クエアシンガポール事務所は、8月に開催された「Thai International Travel Fair (TITF2015 #17)」に参加し、ジャパンゾーン内において日本政府観光局 (JNTO) バンコク事務所と連携して観光 PR を実施しました。

1 順調に拡大するタイの訪日旅行市場

タイから日本への旅行者は 2013 年 7 月のビザの免除、格安航空会社 (LCC) の普及といった追い風を受けて急増しています。JNTO が発表した 2015 年 1 月～7 月の訪日者数は前年比 27.3% 増の 47 万 5,500 人で、2013 年の年間訪日者数 45 万人を早くも上回りました。その勢いを証明するかのように、ジャパンゾーンは会場内でも特に賑わっていました。

2 ジャパンゾーンでの観光 PR

例年 8 月の TITF は、タイの旅行シーズンである 10 月に向けた旅行商品の販促を主な目的としています。秋旅行をイメージした紅葉のデザインが施されたジャパンゾーンには、37 団体 (49 ブース) が出展し、日本全国をほぼ網羅した情報提供が可能となりました。



【多くの来場者で賑わうジャパンゾーン】

初訪日者からは「東京～大阪ゴールデンルート」に関するもの、訪日 2、3 回目の方からは「中部・北陸、北海道」等タイ人によく知られているエリアに関するもの、訪日リピーターからは「東北、中国、四国」エリア等のまだ訪れるタイ人が少ない地域に関して等、全国の幅広い地域について問い合わせがありました。また、おすすめの鉄道パスについて知りたいという問い合わせや、日本人でもなかなか知らないような施設についての質問もありました。

3 タイ人の好みをとらえて FIT 旅行者の地方誘導を

タイには写真撮影を好む人が多く、来場者からも旅先で美しい写真をたくさん撮りたいという声が聞かれました。JNTO は地方めぐりを促進するため「JAPAN STORY」という各地の写真によるキャンペーンを行っています。訪日経験者に「まだ見ぬ日本の風景」を紹介して日本への再訪を促すとともに、初訪日層へも「旅のデスティネーションとして豊富な見どころがある国」という質の高い観光地のイメージ定着を目指しています。

今回の TITF では訪日旅行商品の売上げの約 8 割が FIT (個人旅行) 商品でした。JNTO によると、昨年 8 月頃からパッケージツアーではなく FIT のリピーター比率が上昇しており、定番コースのみならず、より新鮮な観光地を求める声が高まっているとのこと。

地方自治体等がタイ人の好みをとらえつつ FIT 化に効果的に対応して、訪日旅行先を全国各地に広げられるかが今後の焦点となります。



【JAPAN STORY のチラシを掲げた JNTO ブース】

5. Thai International Travel Fair 2015 (TITF2015 #17) の概要

概要	TITF はタイ最大級の国際旅行フェアで年 2 回（2 月・8 月）開催される
会期	2015 年 8 月 13 日（木）～16 日（日） 10:00～21:00
開催場所	タイ・バンコク クイーンシリキット・ナショナルコンベンションセンター
主催	タイ観光サービス協会 (Thai Travel Agents Association: TTAA)
対象	一般消費者
入場料	無料
出展団体数	293 団体（主催者発表）
来場者数	30 万人（主催者発表）
会期中の旅行商品売上総額	3.5 億バーツ（約 11 億 7,000 万円）（主催者発表）
ジャパンゾーン参加団体	仙台市/東北観光推進機構、イオン、東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社、株式会社オリエンタルランド、株式会社サンルート、東日本旅客鉄道株式会社、アルピコホールディングス株式会社、富士急行株式会社、静岡県東南アジア駐在員事務所、中部広域観光推進協議会、株式会社札幌かに本家、小田急電鉄株式会社、羽田空港&成田空港周辺観光協議会、東京急行電鉄株式会社、東京都台東区、紀伊半島滞在型観光プロモーション事業実行委員会、新関西国際空港株式会社、和歌山市、夢館、株式会社プリンスホテル、JR 西日本グループ、国土交通省北陸信越運輸局、別府/北九州/熊本、一般社団法人佐賀県観光連盟、四国ツーリズム創造機構、株式会社日本旅行、ドン・キホーテ、中国地域観光推進協議会、岡山県観光課、大分県、九州旅客鉄道株式会社、北海道観光振興機構、星野リゾートトマム、株式会社オルゴール堂、コメ兵/木曽路、日本政府観光局（JNTO） 計 37 団体
訪日旅行商品購入者数	合計 2,957 人（うち団体旅行商品購入 551 人、FIT 商品購入 2,406 人）
訪日旅行商品販売総額（概算）	約 4,500 万バーツ（約 1 億 5,000 万円）

※TITF 出展に関するお問合せ先：日本政府観光局（JNTO）海外マーケティング部アジアグループ 電話：03-3216-1902

（与那嶺所長補佐 沖縄県派遣）